

地域公共交通確保維持事業の目標値の変更について（令和7年度事業分）

本件は、本年度第1回会議においてご協議いただきました、「地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統国庫補助事業）」における、「袋井駅・中東遠総合医療センター線」事業について、令和7年4月から運行便数を変更予定（※別途、先の案件で協議）であることに伴い、「地域公共交通計画 別紙」中の事業の目標値の変更が必要となることから、ご協議いただくものです。

1 補助申請対象期間

令和7年度（令和6年10月～令和7年9月）

2 袋井駅・中東遠総合医療センター線の事業の目標（1日当たりの利用人数 人/日）

令和3年4月から袋井高校の通学利用が可能となるよう一部路線・時刻を変更したこと、また、令和5年4月から運行経路上に新たにバス停を追加したことなどから、令和4年度以降、利用者数は増加しています。（参考：コロナ前の令和元年度（47.5人/日））

今回、令和7年4月から運行便数を減便する予定であることから、減便による利用者数への影響及び、11月に県が発表した袋井高校の令和7年度募集定員を勘案し、令和6年度実績を基礎として、目標値を次のとおり変更します。

（1）減便による影響

乗車による聞き取り調査の結果から、通院の帰りの時間が時刻表と合わない場合に、別の手段に変更するという利用者あり。

⇒ 通院の帰りの利用が想定される便のうち、減便による影響を受ける3・5・7・9・10便において、中東遠総合医療センターからのOD調査時の乗車人数4人のうち、半数が他の手段を利用すると仮定する。

⇒ 2人/日の減

（2）袋井高校の募集定員について

- ・ 令和7年度募集人数：6クラス 240人
- ・ 令和7年度全校生徒数（予定）：19クラス 772人 ⇒ 令和6年度比 97.72%

【参考】令和6年度生徒数：1年生6クラス 252人、2年生7クラス 280人、
3年生7クラス 258人、全校20クラス 790人

⇒ 令和6年度実績のうち、「袋井高校入口」の4月～9月（124日）の利用者数を97.7%に変更し、年間利用者数を試算。

⇒ 16,411人/243日 = 67.5人/日

⇒ 0.2人/日の減

(3) 新たな目標値 (人/日)

系統名		令和4年度 (R3.10~R4.9) 実績A	令和5年度 (R4.10~R5.9) 実績B	令和6年度前期 (R5.10~R6.3) 実績C	令和6年度 (R5.10~R6.9) 実績D	令和7年度 (R6.10~R7.9) 目標値E
①	袋井駅・中東遠 総合医療センター線	49.8	55.8	60.9	67.7	65.5 (変更前 60.9)

(1)から↓ (2)から↓

目標値E = D - 2人 - 0.2人

(変更前目標値E = C)